



No.1091 発行 2023年 2月8日 国鉄労働組合新潟地方本部 発行責任者 清野 聡 編集責任者 教 宣 部

一万二千円のベースアップ

国労本部は、1月28日に第193回拡大中央委員会を開催し春闘の具体的な方針が決定しました。

統一要求について

国労本部は統一要求10項目を上げました。主な要求項目は、

- ①定期昇給の完全実施②生活を改善させ向上するための基本給(平均)4・8%相当額、13000円を基本とするベースアップ
- ③時給制度社員は15000円を目標に、当面は10000円以上の実施を求める④50歳以上の在職条件と60歳以上の労働条件の見直し。



第129回拡大地方委員会の開催について

●日 時 3月11日(土) 13時~15時まで

●会 場 地方本部 会議室

○前段で例年開催している春闘学習会は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から実施しません。

○委員の方々は各自昼食をとって出席してください。

○拡大地方委員会終了後の懇親会は行いません。



65歳定年制の実現。

回答指定日は3月15日

国労本部は2月13日(月)にJR各社一斉に申し入れます。回答指定日を3月15日(水)を基本とし、第一次回答ゾーンを3月13日~17日、及び第二次回答ゾーンを3月



20日~24日とします。さらにグループ会社においては3月内決着をめざします。

国労本部の統一要求決まる

地本・春闘の取り組みについて

地本・春闘の具体的な取り組み



地本・春闘の具体的な取り組みについて、2月11日に国労東日本本部拡大委員会が開催します。それを受けて、春闘行動を決定します。地本拡大委員会を3月11日に開催し春闘行動として合わせて春闘を盛り上げていきたいと考えています。コロナの感染拡大で2021年から春闘行動が取り組まれていません。地本では何とか元気の出る春闘にしていきたいと考えています。多くの組合員の参加をよろしくお願ひします。



のびのび社会活動 市民運動をすすめるために

●市民運動が高揚したとき、権力者がそれを抑え込もうとすることがあるでしょうか？

歴史を振り返ると、市民の運動が高揚したときに、権力者はみずからの支配体制を維持するために、警察や検察、裁判所、ときには軍隊を動員して、運動の分断や後退、組織の弱体化や壊滅を狙い、強制的に抑圧してきます。これが「弾圧」です。



日本における弾圧とそれとのたかひいは、民主主義擁護の歴史のなかで、極めて重要な側面を形づくってきました。

敗戦後の歴史についてみると日本の労働組合や市民団体は大小無数の弾圧とたたかい、これを跳ね返しつつ、民主主義の土台を築いてきたということが出来ます。

●政治を変えようとする人たちを弾圧

1945年～50年代

労働運動が大きく高揚するもとで松川事件(列車転覆をデッチあげてその犯人として日本共産党員や労働組合員を逮捕)やメーデー事件(皇居前広場にいたメーデー参加者を騒擾罪などで逮捕)など、謀略・弾圧事件が多数起こされました。

●60年代

東京や大阪をはじめ全国で革新自治体が相次ぎ誕生。これに対し、革新陣営や労働組合のピラ配布やピラ貼り、選挙運動が相次ぎ弾圧されました。

●80年代

反核運動など、さまざまな運動が広がるもとで、軽犯罪法をはじめあらゆる法律を駆使して弾圧。このような弾圧を、当事者を先頭に裁判闘争をはじめ市民の抗議などで跳ね返してきました。

(のびのび社会活動・市民運動をすすめるために・日本国民救援会)から記載)

編集後記

2月に入りました。1月があつという間に過ぎていったように感じました。

節分・そして立春を過ぎてから少しづつ気温が上がって春らしい天気になってきました。

新潟市でも12月、1月と大雪で除雪が大変でした。もう雪はいりませぬね。

拡大中央委員会が開催し、具体的な春闘の方針が決定しました。今年春闘は取り組めるのか・・・少し心配です。

こくみん共済の説明会開く

地本は2月4日13時より地本事務所で、こくみん共済への契約移転手続きについて説明会を開催しました。

こくみん共済の担当者、米田さん、小島さん、野崎さんから来ていただきました。今回の説明会は、書類の記入方法など含めて説明を受けました。

今回の説明会では、14名の組合員が参加しました。

13時に開会し説明を受け、その後、約1時間くらいで参加者は概ね契約移転の用紙への記入が完了しました。こくみん共済の担当者は、丁寧に本人が納得するまで説明をしていただき記入完了まで指導していただきました。

〇こくみん共済は新潟市中央区新光町に新潟推進本部がありますので、質問などありましたら、下記へ連絡してください。

●全国労働者共済生活協同組合連合会●

●〒950-0965

新潟市中央区新光町6番地6

● ☎025-282-2002

● 事業推進部 新潟第1支所

● 野崎 恵子



コロナは少し感染者数が減少してきました。収束までもうすぐでしょうか・・・
現在、日常の生活や広範囲の移動について規制がありません。今後の状況がどうなっていくのか心配です。地本は今後も感染拡大防止を強化してきます。春闘行動も様子を見ながら判断していきたいと考えています。

